

#### 4 事業の内容

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益者対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
(1)富士山に残されている天然林を保全、活用する事業	①母樹となる樹木を鹿の食害から保護するための防護ネット掛作業を実施する。	通年	御殿場市、裾野市、小山町内の国有林	のべ100名	地元市民 森林管理署 常葉大学	
	②食害防護柵を設置し毎木、植生調査を実施する。	10月	南山林道沿線			指導者謝礼 10 指導者旅費 3
	③すでに設置している鹿柵防護柵内の植生の回復状況について見学会を実施する。	通年	旧須山口周辺 東白塚			資料作成 13
	④事業に係る行政との意見交換会を実施する。		静岡市内			旅費等 59
						計 85
(2)富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業	①富士山クラブ協定林内の間伐による植生変動等について調査を実施する。	8月 10月	国有林内	のべ100名	地元市民 他の環境団体等	
	②御殿場口砂礫地及び二ツ塚下部に設置した6か所のコドラーの保守点検を実施する。	通年	財産区等所有地 国有林内			
	③侵入植物について継続調査を実施する。	通年	財産区等所有地			指導者謝礼 40 指導者旅費 12
	④活動拠点における土壤水分量調査を実施する。	通年	東富士山麓一帯			
	⑤御殿場口砂礫地、二つ塚下部における地中温度等について調査を継続実施する。	通年				

	⑥富士山にそぞぐ降雨成分について調査を実施する。	5月 8月	砂礫地及び森林内				
	⑦小山町借用地における植生と野鳥の実態調査を実施する。	5月 6月 8月 10月	国有林内			通信費等	7
	⑧調査結果等について、行政及び他団体との情報交換を実施する。					旅費等	46
							計 105
(3)地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業	①当会の活動について地元法人団体等に周知するための事業を実施する。  ②ボーアイスカウトと連携し、侵入植物の除去作業と現地学集会を実施する。  ③パネルによる啓発活動を実施する。	6月	東富士山麓一帯  財産区等所有地  玉穂支所	のべ 100名	地元法人、市民  御殿場、小山ボーアイスカウト  市民	消耗品等  資料等作成  通信費等  会場費等	120 62 38 10
							計 230
(4)その他、法人の目的を達成するために必要な事業	①近田先生による森づくり講演会を開催する。  ②調査活動結果について年次報告書を作成する。  ③小山町借用地の利活用の在り方について提案書を作成する。  ④会員相互の意見交換会を継続して開催する。	5月  12月  9月	市内会場	会員等 50名		冊子作成等  事務所経費等	15  240
							計 255

事業費合計 675,000円

平成30年度 活動予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	84,000	正会員 3,000×28口
一般会員受取会費	161,000	一般会員 1,000×51口 団体一般 10,000×11口
2. 受取寄附金		
受取寄附金	300,000	印野郷土振興協会
3. 受取助成金等	0	
受取民間助成金		0
受取補助金	300,000	御殿場市環境課 財産区
4. 事業収益	0	
5. その他収益	0	
経常収益計	845,000	
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
諸謝金	50,000	謝金など
印刷製本費	90,000	パンフ、冊子作成
旅費交通費	120,000	講師・研修など
通信運搬費	45,000	郵送料など
消耗品費	120,000	消耗機材・電池・用紙・インクなど
水道光熱費	240,000	事務所費
賃貸料	10,000	会場借料など
その他経費計	675,000	
事業費計	675,000	
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	5,000	
通信運搬費	20,000	会報・チラシ発送など
消耗品費	50,000	文具・事務所消耗品など
旅費交通費	3,000	役員会務交通費など
保険料	15,000	ボランティア保険
支払手数料	2,000	振込など
その他経費計	95,000	
(3) 予備費	75,000	
管理費計	170,000	
経常費用計	845,000	
当期経常増減額		0
当期正味財産増減額		0